

| 実施施策 | | 2024年度 (令和6年度) | 2025年度 (令和7年度) | 2026年度 (令和8年度) |
|---|----------------------------|--|--|--|
| 目標値 当初値 (R3) 44.4% 自転車の利用促進に対する満足度 中間値 (R8) 46% (市民アンケート) 目標値 (R13) 48% | | — | 39.1% | — |
| 計画策定からの満足度※ (隔年で市民アンケート実施) | | 令和3年度 満足44.4%、不満28.6%、わからない・無回答27.1% 令和7年度 満足39.1%、不満24.3%、わからない・無回答36.7% | | |
| 基本目標1 自転車交通の役割拡大に備えた良好な都市環境の整備 | 施策① 自転車通行空間の計画的な整備 | ・約16.8km整備済 ・御幸本町赤松線1.8km整備 ・南明1号線、新田弁天線について公安協議実施 ※ネットワーク路線全延長87.7km | ・約17.57km整備済 ・南明1号線 0.45km整備 ・南安城横山線 0.32km整備 ※ネットワーク路線全延長87.7km | ・新田弁天線 整備 |
| | 施策② 放置自転車の取締の推進 | ・放置禁止区域における対策 移動台数79台 ・HPによる啓発 | ・放置禁止区域における対策 移動台数116台 ・HPによる啓発 | ・放置自転車対策の継続実施 ・HPによる啓発 |
| | 施策③ シェアサイクルの普及推進 | ・シェアサイクルポートの拡大(14ポート→17ポート) ・シェアサイクル事業 利用件数16,721件 | ・シェアサイクル事業の継続・拡大(17ポート→21ポート) ・利用需要確認のための社会実験ポート設置(3ポート実施、内1ポート常設化) ・シェアサイクル事業 利用件数 39,642件 | ・シェアサイクル事業の拡大・継続 ・利用需要確認のための社会実験ポート設置(碧海古井駅、総合運動公園のアジア大会期間中の増設) |
| | 施策④ 地域のニーズに応じた駐輪場の整備推進 | ・駐輪場収容台数：7,568台 ・年1回の駐輪場調査実施 ・新安城駅北側に第2駐輪場整備 | ・駐輪場収容台数：7,593台 ・年1回の駐輪場調査による現状把握 ・新安城駅周辺の駐輪場整備検討 | ・年1回の駐輪場調査による現状把握 ・新安城駅周辺の駐輪場整備検討 |
| | 施策⑤ まちづくりと連携した総合的な取組の推進 | ・シェアサイクル事業 利用件数16,721件 | ・シェアサイクル事業 利用件数39,642件 | ・商業施設と連携した自転車及びシェアサイクルの活用啓発 ・まちづくりイベント等での自転車啓発 |
| 基本目標2 自転車の利用促進による「健幸」づくりの実現 | 施策⑥ 自転車を活用した健康づくりの推進 | ・子ども自転車教室の実施(2回 101人参加) | ・子ども自転車教室の実施(2回 1回目は雨天中止、2回目41人参加) | ・子ども自転車教室の実施 |
| | 施策⑦ 自転車通勤等の促進 | ・職員自転車通勤の促進継続 | ・職員自転車通勤の促進継続 | ・職員自転車通勤の促進継続 |
| 基本目標3 交通安全意識の向上等による安全で安心な社会の実現 | 施策⑧ 自転車の点検整備の促進 | ・まちの自転車屋さん：15件 ・HPによる「まちの自転車屋さん」への加入促進 | ・まちの自転車屋さん：15件 ・HPによる「まちの自転車屋さん」への加入促進 | ・HPによる「まちの自転車屋さん」への加入促進 |
| | 施策⑨ 自転車の安全利用の促進 | ・ヘルメット購入補助：1,903個 ・交通安全教室の実施：76件 ・HP等にて安全利用情報周知 | ・ヘルメット購入補助：1,719個 ・交通安全教室の実施：74件 ・HP等にて安全利用情報周知 | ・ヘルメット購入補助の継続 ・HP等にて安全利用情報周知 |
| | 施策⑩ 学校における交通安全教育の推進 | ・交通安全教室の実施：76件 | ・交通安全教室の実施：74件 | ・交通安全教室の実施 |
| | 施策⑪ 災害における自転車活用の推進 | ・シェアサイクルの災害時活用検討 | ・シェアサイクルの災害時活用検討 | ・シェアサイクルの災害時活用検討 |
| | 施策⑫ 損害賠償責任保険等への加入促進 | ・自転車安全整備補助：810台 | ・自転車安全整備補助：775台 | ・自転車損害賠償責任保険等への加入を啓発 |

※複数の施策に関連する事業は重複して記載

※満足→非常に満足・満足・やや満足 不満→やや不満・不満・非常に不満 の合計